

# ○ラーニングセンター（図書館）設計の考え方について（その1）

## コンセプト：

改築基本方針に掲げた目標『小学校・中学校の一体的整備の利点を生かす』の具体化の一環として、小・中学校一体のラーニングセンター（学校図書館）を設置します。

本に囲まれた2層吹抜とすることで、視覚的に一体的で両校のシンボルとなるとともに、児童・生徒の探求心や知的好奇心を刺激し、発展的な学びにつながる空間づくりを目指します。また、多人数の利用できるスキップフロアを設けるなど、一体的整備ならではの多様な学習環境を提供します。

さらに、児童・生徒のアクセスしやすさ、小・中学校の同時利用を考慮した設え、転落・けが防止などの安全対策など、小学校・中学校が併用する施設としての『利用しやすさ』『管理のしやすさ』に配慮した計画とします。

## ラーニングセンターを計画する上での配慮事項（計画ポイント）：

### 1 気軽に立ち寄れる（利用頻度の向上）

小学生は登下校の日常動線からアプローチができ、“道草感覚”で気軽に本に触れ合うことができます。中学生も自然と足が向くよう、渡り廊下を含めて、魅力的で居心地のよい空間づくりに配慮します。

### 2 調べ学習・授業中での利用しやすさ（各教科との連携）

- ・2階が小学生エリア、3階が中学生エリアを基本としつつ、例えば、小学校高学年は分野に応じて3階の中学生エリアも利用できるようにするなど、発展的な学習につながるゾーニングを可能とします。
- ・小学校・中学校とも、理科室、家庭科・被服室はラーニングセンターに近接して配置し、調べ学習をしやすくし、各教科との連携利用や授業の後に興味や知的関心を高めて深い学びに導くよう配慮しています。
- ・ラーニングセンターを取り囲む壁を利用し、展示スペースを作ります。学んだ知識を発表したり、中学校では教科ごとのテーマを絞った展示をすることで、さらに自発的な能力を高める空間となります。

### 3 児童や生徒の目線での居場所づくり

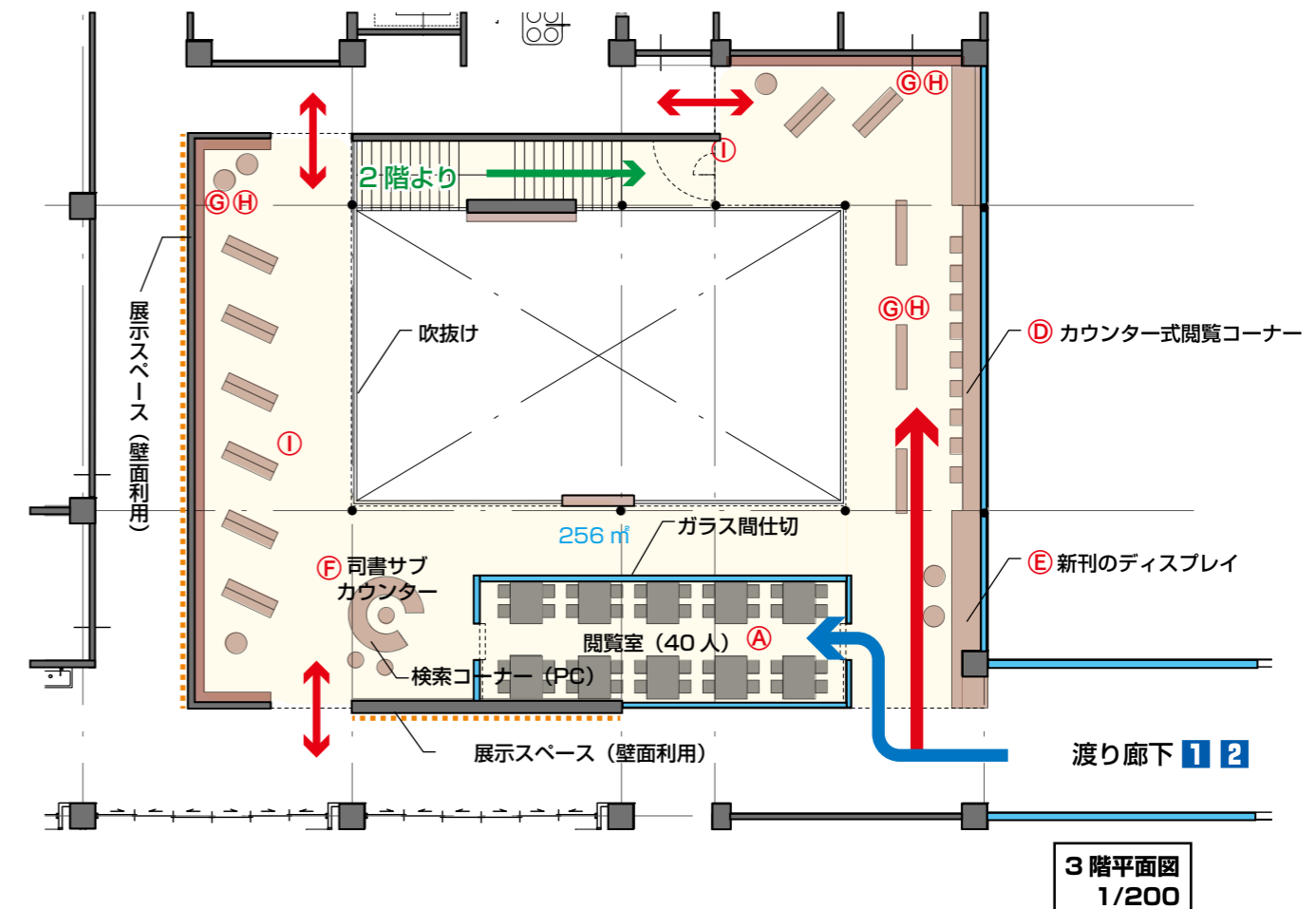
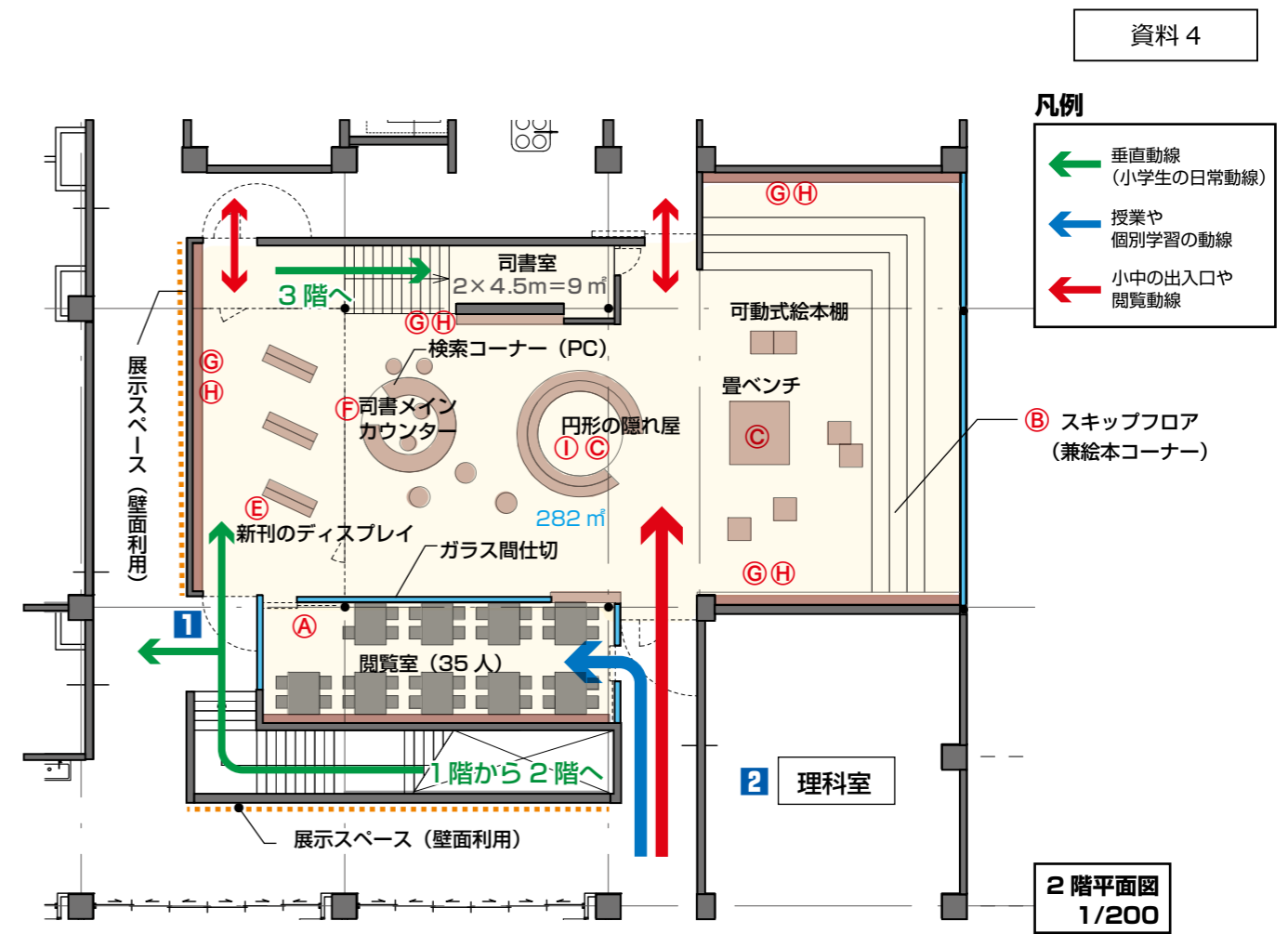
- ① 閲覧室：2階に小学生用、3階に中学生用の授業で利用する閲覧スペースを設けます。見通しのよいガラス間仕切りで仕切りラーニングセンターとしての一体感を保ちつつ、視線を遮ることのできるブラインドを併設し、静かで落ち着いた読書・学習空間となるよう配慮しています。
- ② スキップフロア：階段状になっており、子どもたちは思い思いの場所で本に親しむことができます。また、最大140人が集まることができ、学年単位での活動や絵本の読み聞かせなど多用途に活用が可能です。
- ③ 円形の隠れ屋・畳ベンチ：狭い空間でひっそりと本を読みたい場合を想定します。狭い場所が好きな児童にとっては、その場所で本を読むことで本を好きになるきっかけになります。
- ④ カウンター式閲覧コーナー：小学校高学年や中学生向けに1人で気軽に調べ学習や読書ができるスペースをつくります。スクールモールに向けているため、自然採光が取れる快適な閲覧空間となります。
- ⑤ 新刊のディスプレイ：小学生、中学生の動線に近いところに新刊ディスプレイコーナーを設けます。

### 4 管理のしやすさ

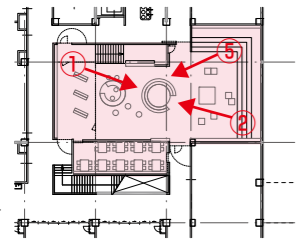
- ⑥ 小・中学校の司書が連携しやすいように、司書のメインカウンターはまとめて2階に配置します。3階にもサブカウンターを配置し、児童生徒の利用状況に応じた使い分けができることで管理しやすい計画とします。
- ⑦ 図書の分野や配置が分かりやすく、配架の変更も対応できるような計画とします。
- ⑧ 小学校1～4年向けの図書は2階にまとめ、高学年は2・3階両方を使い、中学生向けの書籍は3階に配置します。
- ⑨ 死角を作らないように、壁面以外の書棚は高さ1300mm以下とします。

### 5 安全対策

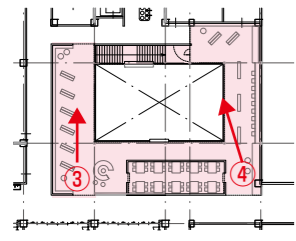
- ・転落防止対策：吹抜けからの転落防止対策として、安全で安心感のある十分な高さの手摺を設けます。
- ・児童の転倒による怪我防止対策：角の部分にゴム製品などの柔らかい材料を用いて、ぶつかった際の衝撃を和らげます。



※現時点での考え方を整理したもので、今後の設計工程で変更となる可能性があります。



キープラン (2階)

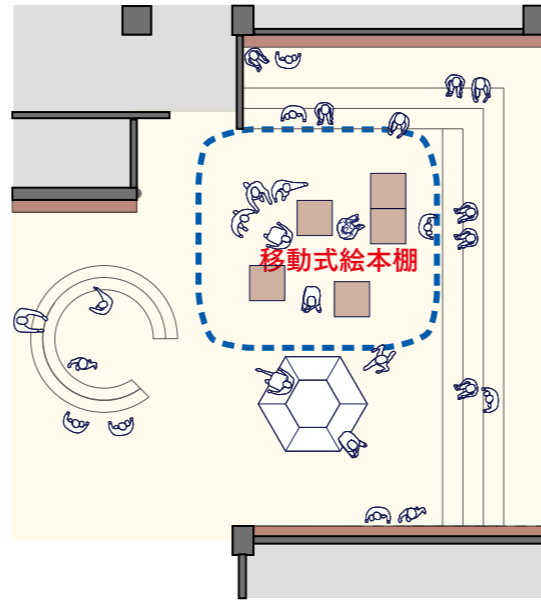


キープラン (3階)

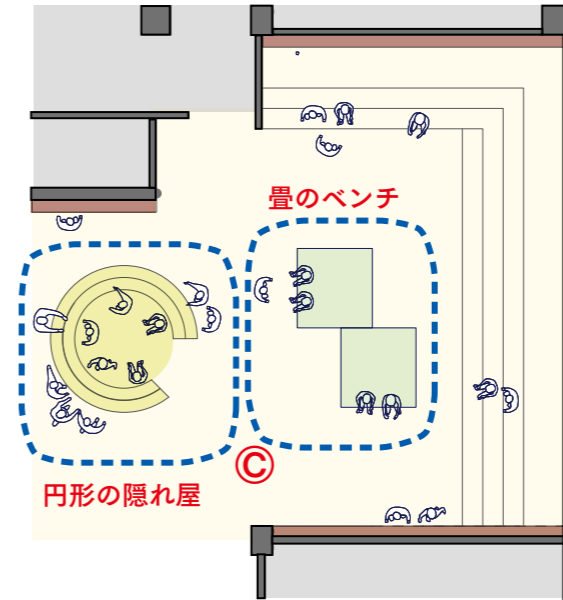
②スキップフロア：140人が集まれるスキップフロア



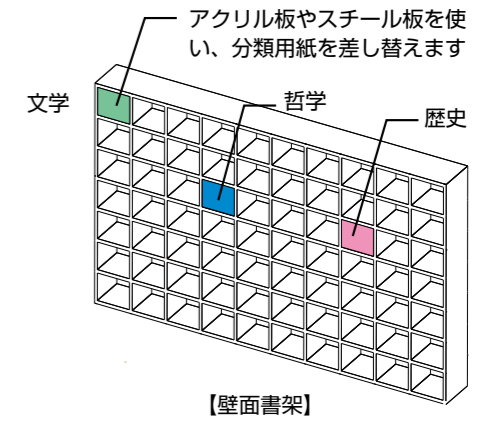
②スキップフロア：絵本コーナー



③円形の隠れ屋・畳ベンチ



④図書の分類、配架の変更への対応



イメージパース①：2階より全体を見渡す



イメージパース②：2階より全体を見渡す



イメージパース③：3階の閲覧スペースを見る

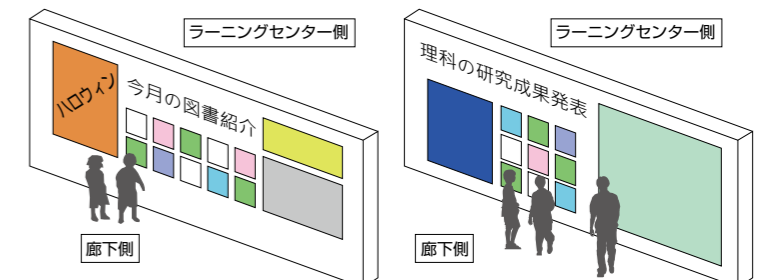


イメージパース④：3階のカウンター式閲覧カウンターを見る



イメージパース⑤：2階のL型スキップフロアより全体を見渡す

展示スペース：ラーニングセンターを構成する外側の壁を展示スペースとし、「発表の場」で囲みます。これにより、学んだ知識を発信する場となります。



【展示例①：行事やイベント等】

【展示例②：教科ごとの成果発表】

※現時点での考え方を整理したもので、今後の設計工程で変更となる可能性があります。